

RESPONSE RING

RESPONSE UP & TORQUE UP

この度は弊社製品<RESPONSE RING>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はインテークダクトに装着し、吸気流速の向上によりエンジンレスポンスを高める目的に制作された製品です。*レスポンスリングは文中では<リング>と略して記載されています。
 本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。
お願い！ 本製品は性能向上、適合追加の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 作業はエンジンが十分に冷えた状態で行って下さい。エンジンが高温の状態にて作業した場合、やけど等の危険があります。
- 取り付け後、エンジン不調等の障害が発生した時は、ただちに使用を止めて下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- ネジの締め忘れ、ダクトの吻合の不具合がある場合は、エンジンが不調をきたす可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- ダクト内にネジ、ゴミ等が落下してしまった場合、エンジン破損の可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- 製品を加工もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。



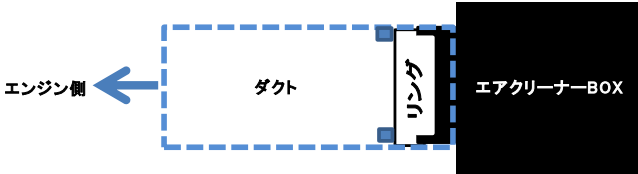
● **リングの敷力所にアルマイト加工時の塗りむらがありますがキズ等ではございません。ご了承下さい。**

【取り付け方法】



- 作業はエアフローメーターのコネクターを抜く場合があります。エンジンを停止させ10分以上経過してから作業を開始して下さい。
 * エンジン停止直後にカバーを抜いた場合、エンジンチェックが点灯してしまう場合がある為

<基本取り付け断面図>



- 取り付け断面図です。作業の参考にして下さい。
- 一部車両はリングの向きが逆になります。

<作業手順>

ダイハツKF車 (NA)



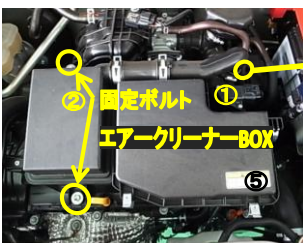
- ① エアクリーナーBOXをエンジンの上から取りはずします。
- ② ダクトの穴にリングを差し込みます。*この車両はリングの挿入がやや固めです、リングの接合部に潤滑油を少々塗った状態で挿入して下さい。
- ③ リングが欠落しないようにゴムブーツをかぶせ、エアクリーナーBOXを固定します。

スズキ・日産・マツダ K6A車 (NA)



- ① エアクリーナーBOXを取り外します。
- ② エアクリーナーとスロットルボディをつなぐゴムブーツ内にリングを装着します。
*必ずエアクリーナーBOX側に装着して下さい。

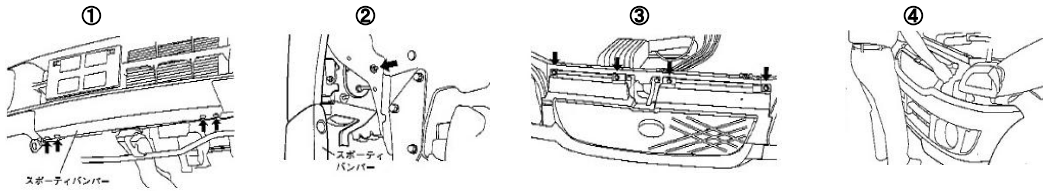
スズキ・日産・マツダ R06A車 (NA)



ダクト部拡大

- ① エアフローカバーを抜いて下さい。
- ② エアクリーナーBOXの固定ボルト2本を外して下さい(10mm)
- ③ エアクリーナーBOXとスロットルボディをつなぐゴムダクトのバンドのネジをプラスドライバーにて緩めて下さい
- ④ ゴムダクトに接続されているφ 25mm程度のホースの止金具を緩め一旦ダクトよりはずして下さい。
- ⑤ エアクリーナーBOXに固定フックがあります。エアクリーナーBOX全体を持ち上げるだけで脱着出来ます。
*きつくささっている場合は、こじるように少しづつ持ち上げて下さい。
- ⑥ エアクリーナーBOX全体を手前に引っ張り、ゴムダクトと切り離して下さい。
- ⑦ エアクリーナーBOX側へリングを装着します。
- ⑧ 取り外し時とは逆の手順にてクリーナーBOX等を組み付けて下さい。

スパルPLEO SC車 右ヘッドライト後方にエアクリーナーBOXが存在する為、Fバンパーの取り外し作業が必要です。下記要領にて作業をおこなって下さい
＜バンパーの取り外し＞



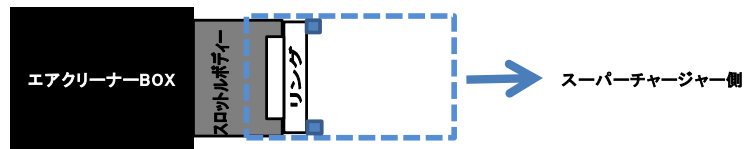
- ①-1. フェンダー固定クリップ(左右1個ずつ)を外して下さい。
- ①-2. マッドガード内のネジ(左右1個ずつ)を外して下さい。
- ①-3. 車体固定下側クリップを外して下さい。 ●スポーツバンパー車→4個 ●一般バンパー車→2個
- ②-1. スポーツバンパー車はフォグランプブラケット固定ナット(左右1個ずつ)を外して下さい。
一般バンパー車はターニングナルランプを外し、正面からボルトを外して下さい。
- ③-1. 上側のスクリュー(4か所)を外して下さい。
- ④-1. フォグランプ及びターニングナルランプコネクターを分離する。
- ④-2. フロントバンパーを脱着して下さい。

＜右ヘッドライトの取り外し＞

- ①ヘッドライト取り付けボルト3本を外して下さい。
- ②ヘッドライト他のコネクターを外し、ヘッドライト本体を手前に引いて取り外して下さい。

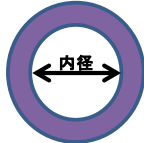
＜リングの装着＞

- リングはスロットルボディとスーパーチャージャーのコンプレッサー間のスロットルボディ側へ装着して下さい。



【リングの交換】 *セッティングの場合

- 2タイプのリングが入っている仕様では、下記の特性を目安にリングの装着をおこなって下さい。
走行条件、好みにより最適なリングを選択し、走行をお楽しみ下さい。



内径が小さいリング

低中速域のトルクUPをねらって開発されたリングです。街中走行が多い車両に最適です。

内径が大きいリング

全域のレスポンスUPをねらって開発されたリングです。比較的高速走行が多い車両に最適です。

【使用上の注意点】



- エンジンを始動させ、異音、不調等が発生した場合はすぐにエンジンを停止させて原因を解決してからリングを使用して下さい。

【MINICON、MAP CONTROLLERとの同時使用について】

MINICON、MAP CONTROLLERとの同時使用はレスポンスリングの性能をさらに引き出します。是非使用されることを推奨致します。

【トラブルチェック】

＜リングの挿入ができない＞

- バンドを締めすぎている場合、まれにエアクリーナー側ダクトが楕円形状に変形してしまいリングが装着出来ない場合があります。
変形したダクトを修正してからリングを装着して下さい。
- 社外品のインテークキット、コアタイプエアクリーナーが装着されている場合、リングのサイズが標準品とは異なる場合があります。

＜リング装着による変化が感じられない＞

- 車両がECOモードになっていると、レスポンスリングの効果が感じにくい場合があります。スポーツモードでの使用をお勧め致します。

＜アイドリング不調＞＜吹け上がらない＞

- エアフローメーターのカプラーが確実に挿入されているか？確認して下さい
- ダクトが確実に挿入されているか？エア漏れがないか？確認して下さい。

＜高回転がノーマルより伸びない＞

- 本来レスポンスリングは低中回転域のエンジンレスポンスを向上させる目的で開発されました。高回転域を多用する状況(サーキット走行他)では一旦リングをはずすことをお勧め致します。

＜最大ブースト圧が下がる/ターボ車の場合＞

- 本製品は低中速域のレスポンス、トルクUPを目的とされて設計してあります。フルブースト時のパワーを求めるドライビングをする場合は、一旦リングを脱着することをお勧めします。

<エンジンチェックが点灯した場合>

- エアクリナーが詰まっている場合、O2センサーが異常と判断しエンジンチェックを点灯させる場合があります。
エアクリナー周りの清掃及びエアクリナーの新品交換をおこなって下さい。
- ノーマル状態にて、(走行-エンジン停止)の正常な状態を3回以上繰り返すとエンジンチェックは消灯する場合があります。もしくはカーディーラー等専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。

【類似品について】



注意

- 本製品の制作にあたっては特許出願をおこなっています。特許に抵触する類似品等の使用は絶対に避けて下さい。
違反品を装着使用された場合、お客様にご迷惑をかける場合が考えられます。